

# 磐梯山



御館中学校 1年1組 学級通信  
No.30  
令和5年11月10日(金) 発行  
文責：中澤 幸子


## 進路の学習も少しずつ～将来の夢は何ですか？

教育相談の中で将来の夢を聞いてみましたが、『まだよくわかりません』という人が半分くらいいました。今はまだそれで良いと思います。反対に、わりとはっきり自分の夢が決まっている人もいました。それはそれで良いことです。お父さんやお母さんの経験談を聞かせていただいたり、友だちや先輩と話したりと、さまざまな体験の中から自分の興味関心は見つかるものです。それを少しずつ狭めていけば、ある程度の方向性は決まるのではないかと思います。中学校の3年間はそれで良いのではないかと、私個人的には思います。自分は何に興味があるのか？くらいは、自覚できるレベルであってほしいですね。これを受けて、学活や総合の時間を使って進路の学習を少しずつ進めていこうと思います。

参考までに、私が抱いていた夢の変遷を<sup>～んせん</sup>紹介します。幼い頃から私は、自分で言うのもなんですが相当なおてんばで、大抵の男の子には負けませんでした。足も速かったし、教えてもらったわけではないのに、球技は何でもこなしました。自然と将来の夢は『オリンピック選手になりたい』になります。体も柔らかかったので、『体操の選手』を夢見ていた時期もありました。小学校も高学年になると、だんだん自分のことがよくわかるようになります。『さすがにオリンピック選手は無理だろう・・・』と悟り、そこで『体育の先生』が浮上するのです。中学校3年間は、ずっと体育の先生と言っていたような気がします。中2の時の担任が、たまたま体育の先生でした。先生は、自分が目標にされていると勘違いをし、えらく感激さ

れていました。全く違うんですけどね。自分の世界が広がると、おしゃべりが好きな私は身の程も考えず、『アナウンサーもありかな？』なんて思い始めます。もちろん部活動(陸上部)には命をかけていました。『大学どうすっぺ～』の時期になった時、TV局に入ったら芸能人に会えるかも!?なんて不純な動機で悩んでいました。そんな浮き足立っていた私に、母の厳しくも的確な一言。『あんた、顔がダメじゃない？』そうなんです、母のその一言は大正解なんです。興味と関心でどうにでもなるパターンと、それプラスαが必要なパターンがあって、ちょっとだけアナウンサーを夢見ていた私には、そのプラスαが足りなかったと言うことなのでしょう。母の言葉で目が覚めた私は、迷うことなく体育大へと進み、今に至っています。おかげでみんなとこうして出会うことができたので、今さらながら母には感謝しています。あの時がきっと私の人生の分岐点だったのです。みんなにもそんな日が必ずやってくると思います。それがいつなのか、想像しただけでワクワクしますね。自分の夢を大切にしてほしいです。

<13歳になります> M・Sさん  
私は15日で13歳になります。誕生日プレゼントは、お姉ちゃんからミニチュア、親からはハリーポッターのゲームか、コスプレ用の服を買ってもらいたいです。誕生日が私の推しと近いし、坂本龍馬の誕生日でもあり、命日でもあるので一緒に祝えます。親に感謝しながら、これからもがんばって生活していきます。




<すばらしい出来栄の美術の作品をほめていただきました>



<みんな集まってきた>

月日	13日(月)	14日(火)	15日(水)	16日(木)	17日(金)
予定	A6・合同美術 18:00下校	A6 18:00下校	A6・部休日 16:10下校	A6 18:00下校	A5・駅伝激励会 17:30下校

